



今年度は、中央会の正副会長にお話を伺います。

# 正副会長に INTERVIEW



中央会会長  
さくま ひろし  
**佐久間 裕之**  
(四日市機械器具工業協同組合)

企業名●株式会社スエヒロEPM  
役職名●代表取締役会長  
住 所●四日市市末広町2-4

電話番号●059-353-7551  
創 立●1953年(昭和28年)10月9日  
従業員数●45名

## ★貴組合のことについてお聞かせください。

私の所属する四日市機械器具工業協同組合は、昭和22年2月に設立した組合で、私が4代目の理事長です。今年の総会で理事長は若手にバトンタッチをし、現在は相談役理事となっています。

組合の会員数は現在は49社ですが、各組合員とも技術革新や斬新なアイデアにより厳しい経済環境を乗り越えています。

組合としての事業は、情報交換等組合員間交流が中心となっていますが、私も会長を務めたことがある組合青年部活動も活発です。平成23年1月には、この青年部(四日会)が中心となって、ものづくり集団として(株)試作サポーター四日市を立ち上げるなど、組合として企業と企業の連携だけでなく、人と人の関係を強化できればと思っています。

## ★経営方針(もしくは、社訓等)をお聞かせください。

社は「常に考えよう 今自分はなにを求められているか なにをすべきなのか どうすることが最良なのか」です。

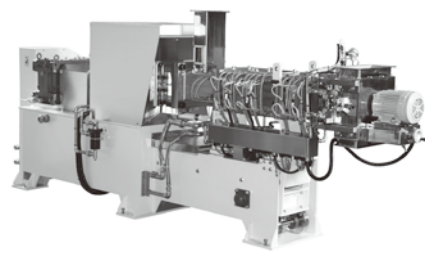
わが社も昭和28年10月にスタートし、昨年は創立60周年でした。私はもともと技術屋ではなく、全国各地を回って機械の修理等メンテナンスの営業が主な仕事でした。手掛けたことのない機械の修理を何度も請け負い、わが社の技術部にとっては大変な苦勞だったと思いますが、このことが、失敗を恐れずにチャレンジする精神が社風として生まれたのだと思っています。

## ★企業PR・仕事内容を教えて下さい。

社名であるスエヒロEPMの由来をお話しします。

(株)末広鉄工所から平成4年に社名変更を行ったのですが、社内公募を行ったところ、末広→スエヒロと当時はステーキの「スエヒロ」や喫茶店やケーキ屋の名前に「スエヒロ」が多く、これが一番であり、EPMはEはエンジニアリング、Pはプラント、Mはマシンの頭文字をとり、「スエヒロEPM」となりました。

わが社の製品は、種子や果実から食用油を搾る搾油機や、飼料や各種機能性食品の加工機をオリジナル製品として創っています。最近ではこの搾る技術が様々な分野で活用されつつあります。



搾油機EA-300

## ★経営トピックとしていつも気にかけていることは何ですか？

私の好きな言葉が2つあります。「自助努力」と「一期一生」です。

「自助努力」: 必死になって向き合えば必ず道は拓けると考えています。

「一期一生」: 造語ですが、一期一会ではなく、一度の出会いを一生大事にするという意味です。

従業員が50名程度の小さい会社ですから、私自身が率先垂範で、今後もスエヒロイズムを示していくことが大事であると思っています。

## ★中央会の役員としての思いをお聞かせください。

この5月の通常総会で皆様方のご支援により会長に再選されました。中央会の特徴として三重県全域をエリアとし様々な業種の団体等が加入していただいております。会員の皆様方の様々な課題に迅速かつ丁寧に対応できるような支援体制を整えたいと思っています。また、私自身も三重県の中小企業が元気になるように国や県当局に働きかけていきますので、会員各位の協力をよろしくお願いします。

～ありがとうございました。～